

# JIS

化学防護服完成品の試験方法一  
第2部：エアロゾル及び気体の漏れ率の求め方  
(内部への漏れ率試験)

JIS T 8032-2 : 2015

(JSAA/JSA)

平成 27 年 10 月 26 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 保安技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 山 宣 彦	東洋大学
(委員)	小 野 真理子	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	利 岡 和 範	日本安全靴工業会
	根 岸 公一郎	株式会社千代田テクノル
	野 原 由樹子	日本防護服研究会
	松 村 不二夫	公益社団法人日本保安用品協会
	由 野 友 規	建設業労働災害防止協会

---

主 務 大 臣：厚生労働大臣， 経済産業大臣 制定：平成 27.10.26

官 報 公 示：平成 27.10.26

原 案 作 成 者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：保安技術専門委員会 (委員長 神山 宣彦)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課及び同部化学物質対策課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 原理	2
5 試験物質及び被験者	2
5.1 試験物質	2
5.2 被験者	2
6 試験装置など	4
6.1 A 法－塩化ナトリウム (NaCl) 法	4
6.2 B 法－六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> ) 法	4
6.3 その他の装置	4
7 試験手順	5
8 計算	6
9 試験報告書	6
附属書 A (参考) サンプルング用プローブ及びその配置例	7
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	9
解 説	12

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS T 8032** の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS T 8032-1** 第 1 部：ガス気密性の求め方（内部圧力試験）
- JIS T 8032-2** 第 2 部：エアロゾル及び気体の漏れ率の求め方（内部への漏れ率試験）
- JIS T 8032-3** 第 3 部：液体ジェットに対する耐浸透性の求め方（ジェット試験）
- JIS T 8032-4** 第 4 部：液体スプレーに対する耐浸透性の求め方（スプレー試験）
- JIS T 8032-5** 第 5 部：液体スプレーに対する耐浸透性の求め方（マネキン試験）

# 化学防護服完成品の試験方法—第2部：エアロゾル及び気体の漏れ率の求め方（内部への漏れ率試験）

Protective clothing—Test methods for clothing providing protection against chemicals—Part 2: Determination of resistance to inward leakage of aerosols and gases (inward leakage test)

## 序文

この規格は、2012年に第1版として発行されたISO 17491-2を基とし、使用上の利便性を考慮するため技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

## 1 適用範囲

この規格は、化学防護服のうち気密服及び陽圧服（以下、防護服という。）の服内部への漏れ率の求め方をエアロゾル雰囲気（A法）又は気体雰囲気（B法）を用いて試験する方法を規定する。

この方法を用いて、被験者による動的条件の下での防護服の防護性能を評価することができる。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 17491-2:2012, Protective clothing—Test methods for clothing providing protection against chemicals—Part 2: Determination of resistance to inward leakage of aerosols and gases (inward leakage test) (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS T 8032-1 化学防護服完成品の試験方法—第1部：ガス気密性の求め方（内部圧力試験）

JIS T 8157 電動ファン付き呼吸用保護具

JIS T 8159 呼吸用保護具の漏れ率試験方法

EN 136, Respiratory protective devices—Full face masks—Requirements, testing, marking

## 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS T 8032-1によるほか、次による。